

Kasugaoka J.H.S

# 明日への扉

アスヘノトビラ

令和3年2・3月号

京都市立春日丘中学校

## 道徳通信

\*\*\*学校教育目標\*\*\*

『すべての子どもの  
学習機会の保証』



いまだコロナ禍ではありますが、今年度が終わりを迎えようとしています。4月に始まった学校生活は1週間もたたないうちに、緊急事態宣言が発令され、2度目の休校。本格的に学校が再開されたのは6月、例年より約2ヶ月遅いスタートとなりました。

みなさんにとってこの1年はどんな1年でしたか。3年生にとっては、いろんな学校行事が中止・変更になり、まさに“我慢”の1年だったのではないのでしょうか。ただ、中学校3年間で振り返ってみると、本当にたくさんの思い出があるのだと思います。合唱コンクールに体育大会、そして春日丘フェスティバルの3大行事はもちろんですが、その他にもたくさんの思い出があるはずです。学校行事はもちろんですが、毎日、笑い合った友人たち、3年間頑張った部活動、毎日通った通学路、さまざまな思いが詰まった教室…。これまで過ごしてきた日々が、次々に頭に浮かんでくるのではないのでしょうか。春日丘中学校で過ごした3年間の記憶を大切に、胸を張って、卒業してほしいと思います。この3年間、春日丘中学校で学んだことに自信を持ち、それぞれが新しいステージで、4月からより一層活躍してくれることを願っています！！教職員一同、応援しています。

1, 2年生のみなさんも、あと1週間で今の教室とはお別れです。4月には2, 3年生になり、新しいクラスの仲間と出会います。次の学年になる前に、「4月からは〇〇をしよう！」「〇〇は絶対に続けよう！」といった目標を決めてみてください。少し長い春休みは、自分を振り返る、いいきっかけになると思います。おうちでの手伝いもしてくださいね。

3年生が残してくれたものをしっかりと受け継ぎ、春日丘中学校のみなさんが、4月から、より一層大きく成長する姿を楽しみにしています。



\*\*\*授業の様子を紹介します\*\*\*

### “死ぬときに後悔すること25”

もうすぐ1年生も終わりです。皆さんにとって、この一年はどんなものになりましたか？1000人以上の患者の最期を見送ってきた医者の方が書かれた「死ぬときに後悔すること25」という著書を通して、今の自分は後悔の残らない生活を送れているか、振り返りました。中学校生活はこれからが本番！といえるほど、今後はさらに中身の濃い時間になっていきます。春日丘中学校を引っ張っていく立場として、後悔のない日々を過ごしてください。

《ワークシートより（授業の感想）》

- ・後悔のない人生を送れる人はほとんどいないと思うけど、少しでもやり切ったなと思えるような人生を送りたいと思った。部活動でももっと頑張れると思うし、今日からもう一度切り替えてやっていきたい。
- ・先生の話聞いて、親に迷惑をかけてしまったなと思った。いつもご飯を作ってくれたり、心配してくれるのに、当たってしまったり、ケンカをしてしまったことが後悔。できるかわからないけど、どこかで感謝の気持ちが伝えられたらいいと思う。
- ・2年生からは、勉強をもっと頑張りたい。1年生の途中からは、諦めてしまったり、宿題ができていなかったの、次からは同じことを繰り返したくないと思った。



**2年生**

## “鉛筆部隊”

「鉛筆部隊」という言葉を聞いて何を思い浮かべますか。



今回は、1944年8月からの1年間に起こったお話です。当時の日本は、第2次世界大戦の真っただ中…たくさんの子どもたちが親元を離れ、集団疎開をしなければならなかった状況でした。そんな世の中の状況の中、離れて暮らす家族に心配をかけまいと手紙を書き続けた子どもたち。そして、その中で出会った“特攻隊”の兵隊さん。みなさんはこの授業から、何を考えましたか？また“戦争”についてどんな思いを持ちましたか？

3年生になったら修学旅行で沖縄に行きます。そのときに、この授業で学んだことや感じたことを生かして、沖縄で多くのことを学んでほしいと思います。

《ワークシートより（授業の感想）》

- 大人たちだけではなく、子どもたちも影で、自分の心と気持ちで戦っていてすごいと思った。自分の気持ちに嘘をつき、はがきを書くのは、とても辛く苦しかったと思う。
- 国のために自ら敵軍に立ち向かう特攻隊の姿と、自分も頑張ろうと鉛筆部隊をたちあげる姿がとても印象に残った。
- 戦争で辛いときに自分たちも不自由な生活を送っていたのに、大人に安心してもらうための手紙の内容がとても苦しかった。みんなを苦しめた戦争のことを忘れてはいけないと思った。
- まわりの大人も頑張っていて、それに子どもたちも協力して手紙を書いていてすごかった。子どもたちは親に会いたくて仕方ないのに、その気持ちを押し殺していたことに感動した。
- 戦争はすごく怖いものだということが感じられた。辛い状況の中でも頑張っていてすごいと思った。



**3年生**

## “振り返り”

3年間、約80回の道徳の授業を行いました。命のこと、仕事のこと、他の人との関わりについて、そして自分自身について、考えました。さまざまな教材から「今、自分にできることはなんだろう？」「これからどのように過ごせばいいのかな？」などたくさんのことを感じ、考えました。他の教科のように評価はつきません。なぜなら感じ方や考えは正解がなく、人それぞれ違うということ、そして周りの意見を聞いて自分の考えを変えても良いからです。これからみなさんはたくさんの人と出会います。その中で、意見の違いから衝突することもあるかもしれません。でもそれが当たり前なのです。“十人十色”という言葉覚えていてください。これからのみなさんの人生が幸せなものであるように願っています。



《ワークシートより》

- 道徳心をはぐくみながら、将来日本に貢献できるような素晴らしい日本男児を目指していきたいと思う。
- 考え方は1つだけではないことがわかった。これからはたくさんの考え方を評価し、その考えを理解して、話合いの場などで生かしたい。
- 人間性を高めるために、たくさんの考えや知識に触れて、心豊かな人になりたい。
- 道徳の時間は人に気持ちや感情を考えたりするので、思っているよりしんどいけれど、いつもより周りの人について、ちょっとでも知ることができたり、相手の立場に立ったりできたので、良い授業だったと思った。